

平成25年8月
Vol.133

《病院理念》 信頼される全人的医療

《基本方針》 患者さんが中心の安心安全な医療を提供します
患者さんと医療従事者のコミュニケーションを大切にします
個人情報の保護に努めます
専門性と総合性をもつ診療を行います
地域に開かれた病院として貢献します
全人的医療が行える医療人を育てます
地域の特性を活かした研究を推進します

◆府民公開講座を開催!◆

6月23日(日)、宮津市・みやづ歴史の館文化ホールにおいて、府民公開講座(第1回 認知症 主催:北部医療センター、京都府丹後保健所)を開催しました。約250名の方々に参加いただきました。

◆第1回の講座内容◆ 前半は、北部医療センター 中川正法病院長の「もの忘れを予防する」と題した講演。認知症とは何か、認知症の治療・ケアや認知症の予防法などについて学びました。中川病院長のユーモアあふれる、わかりやすい講演は大好評。



パネルディスカッション
「豊かな高齢化社会を目指して」

後半は、京都府立医科大学 吉川敏一学長、京都府医師会副会長 北川 靖氏、与謝医師会会長 中川長雄氏、北丹医師会会長 齊藤治人氏、京都府丹後保健所 高木智久所長を迎え、「豊かな高齢化社会を目指して」というテーマでパネルディスカッション。

認知症の患者さんが今後とも増えていく中で、地域医療の課題や、これからの高齢化社会のあり方について、会場の皆さんと一緒に議論を深めることができました。



講演「もの忘れを予防する」
講師:中川病院長

◆次回以降の府民公開講座は、次のとおりです。

第3回 (うつ病)

【日時】9月22日(日) 14:00~16:00
【場所】与謝野町「野田川わーくぱる」(定員300名)
【講演】「うつ病 知る・治す・防ぐ」ほか
(講師) 京都府立医科大学附属病院 病院長 福居 顯二

第4回 (糖尿病)

【日時】10月27日(日) 14:00~16:00
【場所】京丹後市「峰山総合福祉センター」(定員250名)
【講演】「食事療法で学ぶ糖尿病」
(講師) 北部医療センター 総合診療科医長 石野 秀岳

◆お申込み・お問い合わせ先◆

氏名、住所、電話番号、参加希望日を、FAX、ハガキ、電子メール、電話で下記までお申し込みください。

〒629-2261
京都府与謝郡与謝野町字男山481
京都府立医科大学附属北部医療センター
教育研究推進室

電話&FAX 0772-46-3371
【URL】<http://nmc.kpu-m.ac.jp/>
【E-mail】ida-hic-kyoken@mail.pref.kyoto.jp

【第133号の内容】

1 ページ
2 ページ
3 ページ
4 ページ
5 ページ
6 ページ

● 府民公開講座
● もの忘れ外来の現状 ●七夕院内コンサート
● 府立医大で読影が開始
● ナースのお仕事2 ● 集団栄養指導
● 診察室 ● 診療科紹介
● 地域医療連携室「かけはし」
● 外来各科診察担当医表 ● 医師異動情報 ● 職員募集

もの忘れ外来の現状



平成25年5月から第1水曜日の午後に「もの忘れ外来」を始めました。この外来の目的は、認知症患者さんの早期発見と進行予防を主な目的としています。

この3ヶ月で19名の受診がありました。多くの方が比較的早期・軽症の認知症と考えられました。その中には、もの忘れを心配されておられました。正常の方、逆に「私はもの忘れなどありません」と言われながら進行したアルツハイマー型認知症の方もおられました。



認知症の治療には、薬物療法（4種類のお薬があります）、非薬物療法（音楽療法、運動療法、回想法など）、生活環境整備など、いろいろな対応方法があります。また、介護の仕方によっても症状が変化します。

少しでも「もの忘れ」が気になる方は、かかりつけ医の先生に相談されて、当院の「もの忘れ外来」に来られてみては如何でしょうか？

病院長 中川正法

七夕院内コンサート

患者さんの癒しの一助にと、6月19日に「くれっしえんど与謝」による「七夕院内コンサート2013」を開催しました。院内コンサートは毎年2回実施しており、今回のコンサートでは「川の流れるように」「夜明けのスカット」「日本愛唱歌集」「見上げてごらん夜の星を」「上を向いて歩こう」やジャズ演奏を披露しました。



当日は患者さんやそのご家族など約100名の方々と一緒に手拍子を打ってコンサートを楽しみました。



※くれっしえんど与謝…当院職員及び京都府立看護学校学生により構成されている院内サークル

府立医大との間で読影が開始

画像診断支援の充実化

本年7月より当院の画像診断を京都府立医大の放射線科が支援する体制が始まりました。今日では医用画像の役割は大きく、特にCTやMRIなどのコンピューター断層撮影なしに治療方針の最適化を図ることは困難と考えられています。具体的には、当院と大学間の高速インターネット回線を用いて、当院で撮影された画像は瞬時に送信され、大学内の放射線診断専門家によってほぼリアルタイムで診断されます。このような公的施設による遠隔支援システムは全国的にも例が少なく、画期的なものです。現段階ではシステムの安定性を確認しながら部分的使用に留めていますが、最終的には完全化を目標としております。府北部の地域医療にますます貢献できるものと確信しております。



ナースのお仕事 2

— 大下 美弥子 B3師長 —



今回はB3病棟看護師長をしている大下師長をご紹介します。

〔おおした みやこ：平成6年から当院勤務、B3師長は平成25年4月から〕

質問1：看護師になろうと思った理由は？(きっかけになった出来事など)

大下：子供と関わる職業に就きたいと思った私は、保育士か看護師のどちらを目指すか迷いましたが、姉が保育士だったこともあり、私は看護師の道を選択。その後、生命の誕生をご家族とともに喜びたいと思い、助産師を目指しました。

質問2：看護師になって、感じたことを印象深い順に3つ教えてください

大下：1つ目は、貴重な分娩をお手伝いを通じて、分娩を介助するたびに、自分の助産師としての責任の重さ、生きる命の尊さ、母の偉大さを感じたこと。2つ目は、先輩看護師が「なんかおかしい。」と、私に声を掛けてくれた時のこと。彼女の鋭い観察力と的確な判断力に感動した。私も先輩看護師のようになりたいと感じた。3つ目に、患者さまの笑顔。さらに一緒に流した涙が、私のエネルギーとなっていること。患者さまからの「ありがとう」は最高のプレゼントであること。

質問3：貴方のナースのお仕事を教えてください(部署、専門分野、など)

大下：今年4月より、産婦人科・小児科・神経内科などの、ベビーから高齢者まで幅広い年齢層の女性の方が、多く入院されるB3病棟の看護師長となりました。看護師長1年生ですが、スタッフと共に、退院時のアンケートなどを参考に、患者さまの声に耳を傾け、療養生活が少しでも快適で、その人らしく治療や育児に専念できるよう、どのようにすればよいのか考えています。また、教育委員会・クリニカルリーダー委員のメンバーとして卒後教育にも関わっています。

質問4：看護師として今、一番感じることはなんですか(地域医療、医療問題、など)



大下：高齢化が進むこの地域。医療的サポートや介護を必要としている方が増えていると感じる。その人がその人らしく暮らしていくために、看護師として、今自分に何ができるのか。できることを患者さまや家族と見つけて行くことが大切だと感じています。

平成25年度の集団栄養指導実施内容

栄養指導の中では参加される患者様やその御家族の質問等にもお答えしていますので、気軽にお話を聞きにお越しください。

- 場所：エントランスホール薬局窓口前
- 時間：午前11時30分～12時
- 費用：無料

実施日	内容	講師
4月24日(水)	テーマ「高齢者の排泄ケアについて」	八木悦代 皮膚排泄ケア 認定看護師
6月14日(金)	テーマ「お酒とうまく付き合うために」	北岡 力 研修医
7月16日(火)	テーマ「禁煙について」	清水祐一 研修医
8月20日(火)	テーマ「ピロリ菌と胃癌の話」	時田和彦 副病院長
9月19日(木)	テーマ「糖尿病について①」	高 淳 浩 研修医
10月21日(月)	テーマ「減塩食について」	石野秀岳 医長
11月20日(水)	テーマ「糖尿病について②」	田中一哉 研修医
12月20日(金)	テーマ「インフルエンザについて」	北岡 力 研修医
2月20日(木)	テーマ「高脂血症と痛風について」	橋本 光 研修医





診察室

「熱中症について」

救急科 医長

すみ だ やす ゆき
隅 田 靖 之



「日射病」「熱射病」と言われますが、高温環境下で脱水や塩分(ナトリウム)のバランスが崩れ、体温上昇を引き起こし、重篤な場合は死に至る可能性のある病態です。正式には「熱中症」と言います。

真夏のように高温環境となると体温が下がりにくくなり、また湿度が高いと汗をかいても蒸発せず気化熱で体温が下げられず、そのままの環境で放置しておく、表のような症状が重症度に応じて出現し、ひどい場合は脳や体内の臓

器に悪影響を及ぼし、生命に危険が及ぶことになります。

気を付けることとして、①真夏の昼間など暑い時の外出は控えること(特に体調が悪い時は)、②服装は通気性のいい物を着ること、③のどが乾いたら水分をこまめに摂ること、④子供さんや高齢の方は熱中症を起こしやすいので気を付けること、が挙げられます。水分補給の際に汗で失われた塩分を補充するため0.2%の食塩水(水1リットルに

つき2gの塩、ひとつまみぐらいの塩)やスポーツドリンクが勧められています。

もし熱中症がかもしれないと感じたら、①風通しのよい木陰やクーラーの効いた涼しい室内に移動しましょう、②衣服をゆるめて熱放散を助け、③冷たいおしぼりなどで体を冷やし団扇(うちわ)や扇風機で風を送ります、④水分をこまめに摂って下さい。症状が軽度なら上記で対応できますが、これでも改善しない、また意識が悪い・けいれんしている・吐き気が続いて水分が摂れないなどの症状があれば早期の病院受診をして下さい。病院では生理食塩水(0.9%)の点滴ができ、早めの水分及び塩分の補充が可能です。



分類	症 状	重症度
I 度	めまい・失神 「立ちくらみ」という状態で、脳への血流が瞬間的に不十分になったことを示し、「熱失神」と呼ぶこともあります。 筋肉痛・筋肉の硬直 筋肉の「こむら返り」のことで、その部分の痛みを伴います。発汗に伴う塩分(ナトリウムなど)の欠乏により生じます。これを「熱痙攣」と呼ぶこともあります。 大量の発汗	
II 度	頭痛・気分の不快・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感 体がぐったりする、力が入らないなどがあり、従来から「熱疲労」「熱痙攣」と言われていた状態です。	
III 度	意識障害・痙攣・手足の運動障害 呼びかけや刺激への反応がおかしい、体にガクガクとひきつけがある、真直ぐ走れない・歩けないなど。 高体温 体に触ると熱いという感触です。従来から「熱射病」や「重度の日射病」と言われていたものがこれに相当します。	

熱中症の重症度分類

診療科紹介

一呼吸器内科一

おお つき りょう ぞう
医長 大 月 亮 三



呼吸器内科は気管、気管支、肺の病気を扱います。主なものは肺癌、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、肺結核などです。

このうち肺癌は日本人の死亡原因の第1位を占める癌の中で最も死亡が多い臓器の癌であり、年間5万人余の方が亡くなっており、現在も増え続けています。当院では抗癌剤による化学療法を行います。手術や放射線治療が必要となる方には設備のある病院に紹介いたします。強い痛みや呼吸困難が出現するときは症状を抑える緩和治療が主体となることもあります。

気管支喘息は成人の3%前後といわれ、症状は夜間などの咳、喘鳴が起ります。ステロイドやステロイドと気管支拡張剤の合剤の吸入が普及したことによって重い発作のために亡くなる方は減りましたがそれでも年間2千人前後が亡くなっています。

慢性閉塞性肺疾患は労作時の息切れ、咳、痰を症状とす

る喫煙歴のある方に多い病気です。軽症の方も含めると人口の1割に

この病気による肺機能の異常があるといわれていますが実際に治療を受けている方はその中の1割程度で、年間に1万人以上の方が亡くなっています。診断には肺機能検査を行います。

肺結核は咳を通してうつる伝染病の1種です。国内では年間3万人の方が発病し3千人が亡くなっています。痰の中に結核菌が出ている状態では結核病棟に入院する必要があります。

このように多くの方の健康、生命にかかわる当科は発足当時3名体制でスタートいたしました。が附属病院化に伴い1名となり診療の量、質を維持することが大変困難になっております。病状の安定した方には地元の医院、診療所での治療をお勧めしておりますので皆様のご協力をお願いします。

地域医療連携室「かけはし」

当院は 「在宅療養あんしん病院登録システム」 に参加しています

「在宅療養あんしん病院登録システム」とは、あらかじめ必要な情報を登録しておくことで、在宅療養中の65歳以上の高齢者が体調をくずし在宅での対応が困難となった時に、スムーズに病院で受診し、必要に応じて入院ができるシステムです。

早めの対応により、病状の悪化や身体の働きの低下をできるだけ防ぎ、在宅生活を続けることを支援します。

【対象】 在宅療養されている京都府在住の65歳以上の方

- 訪問診療を受けている方
- かかりつけ医に定期的に通院されている方

【申込み】 「かかりつけ医」（病院・診療所）にご相談ください。

【問い合わせ先】 当院・医事課

電話 0772-46-3371 (代表)

※ 詳しくは、京都地域包括ケア推進機構のホームページをご覧ください。

<http://kyoto-houkatucare.org/>



地域の医師・看護師など医療スタッフの皆さまへ (受講者募集中)

がん診療に携わる 医師・看護師等に対する緩和ケア研修会

当院では、京都府がん診療連携病院として、下記のとおり研修会を開催します。研修会では、がん性疼痛などの身体症状及び精神症状の緩和ケアや、コミュニケーション技術を学びます。(全て受講された方には修了証が発行されます。単位制のため、府内他会場と合わせた受講も可能です。)

【日時】 平成25年 9月8日(日) 9:00~17:10
9月14日(土) 9:00~17:20

【場所】 京都府立医科大学附属北部医療センター (与謝の海病院)

【講師】 当院・院外の医師・看護師など

【募集人員】 医師、看護師、コメディカルなど 30名

【参加費用】 なし。 ※ ただし、昼食代 1日につき1,000円 (希望者のみ)

【申込締切】 平成25年8月30日(金) 定員になり次第 締め切り

問い合わせ先：当院・医事課 電話0772-46-3371 (代表)

外来各科診察担当医表

(平成25年9月1日)

診察室	診療科	月	火	水	木	金	
11	総合内科	時田和彦 准教授(副病院長)	高田博輝 助教(医長)	石野秀岳 講師(医長)	時田和彦 准教授(副病院長)	石野秀岳 講師(医長)	
12	呼吸器内科	大月亮三 助教(医長)	大月亮三 助教(医長)	大月亮三 助教(医長)		大月亮三 助教(医長)	
13	消化器内科	玄 泰行 助教(副医長)	担当医(新患)	城 正泰 助教(医長)(肝臓)	福居顕文 助教(副医長)	土肥 統 助教(副医長)	
14	循環器内科	谷口琢也 助教(副医長)	川人浩之 助教(副医長)	高田博輝 助教(医長)	木下英吾 助教(副医長)	岸田 聡 助教(副医長)	
15	神経内科	丹羽文俊 助教(医長)		(第1 午後) 中川正法 教授(病院長) (もの忘れ外来) (予約)	丹羽文俊 助教(医長)	中川正法 教授(病院長)	
26	精神科	西澤 晋 助教(副医長)	上村 宏 准教授(医長)	上村 宏 准教授(医長)	上村 宏 准教授(医長)	西澤 晋 助教(副医長)	
23	小児科	小坂喜太郎 准教授(医長)	吉田秀樹 助教(副医長)	(1,3,5週) 小坂喜太郎 准教授(医長) (2,4週) 小川 弘 講師(医長)	1診 諸戸雅治 助教(副医長) 2診(第2,4午前) (予約) 菜原康通 講師	小川 弘 講師(医長)	
18	外科	1診	中村憲司 講師(医長)(乳腺・新患)	石本武史 助教(副医長)	當麻敦史 講師(医長)	中村憲司 講師(医長)	落合登志哉 准教授(副病院長)
		2診	荻野真平 助教(医師)		藤田周平 助教(医師)		(第1) 増田慎介 医師 (第2,4) 常盤和明 特任教授
22	整形外科	(1,5週) 吉田隆司 講師(医長) (2週) 森崎真介 助教(副医長) (3週) 細井邦彦 助教(副医長) (4週) 吉岡直樹 助教(副医長)	吉岡直樹 助教(副医長)	森崎真介 助教(副医長)	吉田隆司 講師(医長)	細井邦彦 助教(副医長)	
17	脳神経外科		山中龍也 教授(隔週) 関本達之 特任教授(隔週)	山中龍也 教授(隔週) 関本達之 特任教授(隔週)	谷山市太 医師	井上靖夫 医師(隔週) 瓦葺健太郎 医師(隔週)	
19	眼科	1診	水野連太郎 助教(副医長)	糸井素啓 助教(医師)	小嶋健太郎 助教(医長)	小嶋健太郎 助教(医長)	水野連太郎 助教(副医長)
		2診	丹羽匡世 助教(副医長)		丹羽匡世 助教(副医長)	糸井素啓 助教(医師)	
20	産婦人科	辻 哲朗 助教(医長)	沖村浩之 助教(医師)	片岡 恒 助教(副医長)	(1,3,5週) 片岡 恒 助教(副医長) (2,4週) 沖村浩之 助教(医師)	野口敏史 准教授(副病院長)	
24	泌尿器科	堀田俊介 助教(医師)	問山大輔 助教(医長)	問山大輔 助教(医長)	堀田俊介 助教(医師)	問山大輔 助教(医長)	
25	耳鼻咽喉科	1診	信原健二 助教(医長)	信原健二 助教(医長)	椋代茂之 医師	信原健二 助教(医長)	齋藤敦志 助教(副医長)
		2診		齋藤敦志 助教(副医長)		齋藤敦志 助教(副医長)	
21	ペインクリニック		(第1,3) 伊吹京秀 講師				
16	皮膚科	今井 慎 助教(医長)		今井 慎 助教(医長)	今井 慎 助教(医長)	今井 慎 助教(医長)	

●受付時間/8:00~11:00

●閉診日/土・日・祝日(急患は、時間外でも診察)

医師異動情報

診療科名	整形外科	転出(平成25年6月30日)	
		助教(医長)	トノムラ ヒトシ 外村 仁
	転入(平成25年7月1日)		
	助教(併任) 久美浜病院勤務	ニシク ポ ヒロユキ 西久保 浩之	

一緒に働きませんか?

看護師・薬剤師



当センターでは現在、正規職員(看護師)、期限付職員(看護師)、非常勤嘱託職員(薬剤師)、臨時職員(看護師)を募集しています。条件等についてはお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】京都府立医科大学附属北部医療センター 庶務課
☎0772-46-3371(代表)

【発行】京都府立医科大学附属北部医療センター(与謝の海病院) 【問合せ先】庶務課

TEL/FAX 0772-46-3371(代表) ホームページ <http://nmc.kpu-m.ac.jp/>

ホームページから“お見舞メール☑”サービスがご利用いただけます。